

小春日和

伝説の歌手、山口百恵さんの代表曲の一つ“秋桜”。皆さんご存知でしょうか。私はこの歌が大好きで、今も車のナビに録音して聴いています。歌いだしは♪薄紅のコスモスが秋の日の♪ですが、今まさにコスモスが満開で、この時期に聞くと、一層グッと心に浸みてきます。この曲のサビに次の一節があります。♪こんな小春日和の穏やかな日は あなたの優しさが浸みてくる～♪この歌を聴くたびに、「“小春日和”というのは、秋の穏やかな日のことなんだな～」と再認識しています。ちなみになぜそう言われるのか調べてみると、秋から冬に移行するこの時期は、まるで春のように穏やかな陽気が続くことからこう呼ばれるようになったんだそうです。ちなみに“春日和”という言葉もあり、これはまさしく“春の陽気”だそうです。先週は一転して寒くなりましたが、今日ぐらいから少し気温が上がり“小春日和”になるようです。勉強をするにも、読書をするにも、スポーツをするにも最適な気候だといえます。文化発表会・合唱コンクールが終わり、ホッとしていることと思いますが、気持ちを切り替える必要があります。これから3年は実力テストや三者面談、2年は修学旅行があります。生徒会役員選挙も控えています。まだまだ忙しい日々が続きますが、小春日和の穏やかな日のように、私達も穏やかな心を持ちながら、次の目標に向かってしっかり頑張っていきたいものです。(余談ですが、この歌の作詞作曲者は長崎市出身のさだまさしさん。「男の人がよくこんな歌詞を書けるよなあ～」と感心してしまいます。やはり感性がすばらしいのですね。いずれにしてもとても素敵な曲です。)



Sophia Zaykowski 先生

先々週の学校通信でもお知らせしましたが、今月から新しいALTのソフィア先生が着任され、本校には月、水、木の3日間勤務されています。彼女はUSA・ニューヨーク州出身の23歳。まだ大学を卒業されたばかりで、働くのも今回が初めてだそうです。最初、彼女と片言の英語?とボディアクションで話をしたのですが、日本語は苦手といいながら、少しは話せたので一安心。いわゆるBilingual(バイリンガル)と思いきや、よくよく聞いてみると、母親がスペイン系のためスペイン語も話せるし、High school時代に1年間ドイツに留学していたため、少しドイツ語も話せるとのこと。韓国語にも興味を持っているということで、非常に多才だということがわかりました。また、空いた時間にはひらがなを練習するなど勉強熱心。私も見習ってBilingualを目指そうかと思いますが、なかなかですね。ところでBilingualという言葉ですが、「Bi」はラテン語で「2」という意味があり、そこに「言葉」という意味の「lingual」がくっついて、Bilingualとなったそうです。で、話せる言葉が増えれば最初の数字が増えていきます。3ヶ国語は「Trilingual」(トライリンガル)、4ヶ国語は「Quadrilingual」(クアドリンガル)、5ヶ国語は「Pentalingual」(ペンタリンガル)だそうです。彼女は一体「何lingual」と思った次第です。いずれにしても今は国際化社会。異国語や異文化に触れるのはとっても大事です。彼女と触れ合うことで、多くのことが吸収できるはず。勇気を持って話しかけ、積極的に交流を深めて欲しいと思います。